

令和6年度第1回葛飾区環境審議会 議事録要旨

【日時】 令和6年10月21日（月） 午前9時30分～午後0時0分

【会場】 葛飾区役所 7階 701・702会議室

【出席委員】 崎田委員、藤野委員、矢後委員、竹内委員、赤澤委員、沢崎委員、島田委員、下井委員、田中委員、鳥山委員、藤田委員、武者委員、湊委員、大川原委員

【欠席委員】 関根委員、菅原委員、池上委員、大友委員

【事務局】 宮地環境部長、木下環境課長、柿澤リサイクル清掃課長、久保清掃事務所長、秋元建築課長、三木、村上、下田

【次第】

1 開会

2 議事

- (1) 葛飾区の環境施策と進捗状況の評価について
- (2) 「全国みどりと花のフェアかつしか」基本計画について
- (3) 葛飾区における3Rの進捗状況について
- (4) 建築物再生可能エネルギー利用促進計画の策定について
- (5) 新清掃事務所の開設について

3 閉会

【資料】

- | | |
|-----|---------------------------|
| 資料1 | 令和5年度進捗状況の報告について |
| 資料2 | 「全国みどりと花のフェアかつしか」基本計画について |
| 資料3 | 葛飾区における3Rの進捗状況について |
| 資料4 | 建築物再生可能エネルギー利用促進計画の策定について |
| 資料5 | 新清掃事務所が完成するまで |

発言者	審議内容
<p>会長</p> <p>事務局 (環境課長)</p>	<p><u>1 開会</u></p> <p>定刻になりましたので、これより令和6年度第1回葛飾区環境審議会を開会いたします。</p> <p>司会・進行を務めます会長の崎田と申します。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入る前に、事務局より連絡事項がございます。</p> <p>(委員の紹介、出欠の報告及び資料の確認を行った。)</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p><u>2 議事</u></p> <p><u>議事(1) 葛飾区の環境施策と進捗状況の評価について</u></p> <p>(資料1に基づき、説明した。)</p> <p>(委員等からの主なご意見は以下のとおり)</p>
<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>目標に向かって、着実に進捗している。新清掃事務所はBELSという断熱・気密性能の高い建築物に対する認証を取得したということで非常に環境にやさしい清掃工場が作られていて良い。</p> <p>また、地元の企業が高性能な建物を建設しているという話を聞いたが、地元の企業がノウハウを蓄積して他区でもビジネスができるようになっていくという点でも、高断熱・高气密の住宅建設を推進する取組の意味は相当深いのではないかと。ほかにも、個別住宅への太陽光発電システム・蓄電池の設置、断熱・気密を高性能なものにしていくことも非常に重要だと考えている。これに対する補助金は、葛飾区は充実している。省エネや光熱費削減といった側面のほか、健康のためにも良いため、ぜひ省エネ・再エネの普及政策をさらに進めていただきたい。2030年カーボンハーフの目標は相当高いが、省エネ・再エネの取組を区民の皆さんが実施することで生活の質も高められる。Well-beingという言葉もあることからご検討いただけたらと思う。</p> <p>成果指標の中で「省エネを心がけている区民の割合」が微減している。区の様々な取組によりLED化や断熱化をする区民も増えているため、こうした取組をもっと地域に広げることで数字が上がっていく施策をしていただけると嬉しい。</p>

委員	<p>家庭のごみ量が着実に減っている。これは区の努力が数字に表れていると思う。花いっぱい取組は、私も日比谷公園で行われているガーデニングショーに行ってきたが、そこでも葛飾区はブースを出していた。花の施策を推進することが非常に広まっている点で素晴らしい。</p> <p>課題は、区民の方にもこれだけ頑張っていて素晴らしいということを発信していただきたい。見開きくらいの概要版で進捗度がわかるようなものがあると良い。</p> <p>また、CO2の削減がかなり難しいところがあるかと思う。原因がどこにあるのか、どこに集中して施策を投じれば効率的に削減ができるのかということ进行分析すればより効率的に削減ができるのではないかと。もう少し数字の読み込みができると良い。</p>
委員	<p>再生可能エネルギーに切り替えていく、その努力は非常に願うところで、ありがたい。実際その努力が、新清掃事務所の再生可能エネルギー100%という目標などであり、非常に評価できる。</p> <p>基本目標4「多様な生物との共生」が私の専門分野となるが、この辺りは本当に努力されている。特定外来生物の駆除というのは非常に大事だが、葛飾区は「水」が一番のキーワードにもなってくるので、水の中の外来生物ということも注意深く駆除に向かってほしい。</p> <p>課題は「水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合」と「一人当たりの公園面積」が伸び悩んでいる。</p> <p>広報は大事だが、区民参加型取組を取り入れたほうが将来的に良いのではないかと。</p> <p>区民一人当たりの公園面積は難しいところはあるが、一人一人の庭というのを守っていくやり方を広報で知らせるとともに、30by30のような国の取組もうまく利用していけば良いのではないかと。</p>
会長	<p>専門家の皆さんが取組を大変評価しているが、それを区民の方にお伝えするためにも、区民参加型でいろんな事業で広めていく等様々なやり方があるのではないかと指摘をいただいた。</p> <p>私も資源循環が専門なので申し上げますと、一人一人当たりの家庭ごみ量が非常に減っている。家庭ごみ量は増える傾向にあるが、かなり減らしている。事業系のごみも、コロナの対応などで社会全体として減っている傾向があるが、ここも減らしている。そこから、社会の様々な状況の中でより一層の努力をしているような認識を持っている。資源回収も頑張っているようだが、資源回収率として数字が見えてこないため、そこは今後の課題である。</p>
委員	<p>非常に多岐に渡って区が努力しているというのがわかってありがたい。</p> <p>一つはごみの関係で、来年度からプラスチック製品のごみを燃やすごみと別にするというのは非常に高く評価できる。</p>

	<p>もう一つは水の関係で、河川の汚染の問題のところだが、全国的に PFAS や PFOS の問題が取り上げられている。東京都は問題なさそうだが、今後どうなるかわからないため、チェックをしていただきたい。大丈夫なら大丈夫だということを区民に知らせて、安心させるような取組をしたほうが良い。</p> <p>また資料を見ていて気になった点がいくつかある。</p> <p>温室効果ガス排出量の表記について、eq をつけるのか統一したほうが良い。また家庭部門の排出量が業務部門の数倍の数値になっているが、こんなに多いはずはない。それから、区の事務事業による温室効果ガス排出量の目標値のところでは 51% という数字が出ていて、他は 50% となっている。これを用いて平成 25 年度の値を計算すると、他の年度とずれているため、目標値は 50% の間違いではないか。</p> <p>もう一つ、葛飾区の温室効果ガス排出量の算出方法を知りたい。ゼロエミッションを宣言していく上では算出方法を明らかにしないと、我々もどのように温室効果ガス排出量削減の政策に協力できるかがわからない。例えば、私はガソリン車を使用しているが、ガソリン車の使用でどのくらい CO2 は排出しているのかなどわかるとよい。</p>
委員	<p>「サステナブル・リカバリーによる区内産業の活性化」のところでは、SGGs 宣言が 148 件。区内産業で温暖化に対してストップをかけるという努力はお金もかかるし大変だという話を聞いた。</p> <p>私も近所にある会社の SDGs 宣言証を見てみたが、こんなに努力しているという企業は非常に好感が持てたし、まず宣言したということが一歩前進だと捉えている。葛飾区全体でも企業の努力は欠かせないが、ホームページに至るまでは知っていて見ようと思わないととどろき着けない。一消費者としては頑張っている企業を応援していきたいと思うため、ぜひとも対応を考えていただきたい。</p>
会長	<p>今のお話も大事なことで、頑張っている企業の努力が可視化できることをしっかりしないと、応援しようにも難しいところがある。</p>
事務局 (環境課長)	<p>まず SDGs 宣言証については、SDGs は全部で 17 のゴールがあり、それぞれ様々な場面がある。その中のどこかに当てはまって企業活動をしていればなどのハードルを設けておらず、これを目指してやっているということで認定している制度だと承知している。</p> <p>ホームページ含め、広報かつしかでも時期を見て宣伝広告を出しているはずである。一方で、それがあまり可視化できない、よくわからないというのは課題として当然あり、頑張っている企業に対して我々がどのように周知していくか、非常に大切なことだと思う。SDGs 担当課とも連携しながら周知方法について相談していきたい。</p> <p>次に温室効果ガス排出量についてだが、温室効果ガスの表示方法は二種類ある。二酸化炭素が温室効果ガスのほとんどを占めているため、温室効果ガス全体を</p>

	<p>指す場合がある。温室効果ガスは全部で7種類あり、それを二酸化炭素に換算して表現するときはCO₂eq、equivalent という単位を使って表現する。</p> <p>委員からご指摘のあった、温室効果ガスと書いてあるのにeqがついている、ついていないという部分が散見されるため、ここについては温室効果ガスとして測るものについてはeqをつけること、CO₂で表現するものについてはCO₂という形で書き直していきたい。</p> <p>また、区の事務事業による温室効果ガス排出量の目標値は、ご指摘いただいたとおり、正しくは51%、15,559千t-CO₂eqとなる。お詫びして訂正する。</p> <p>葛飾区の温室効果ガス排出量の数値は、オール東京の市区町村共同事業東京温暖化防止プロジェクトからもらって表している。しかし東京都という単位までは全体の総量がわかっているが、それ以上の細かい部分については人口や経済活動等様々なもので按分して出している。そのため、正確な算出方法については、中々難しいのが現状である。国や東京都等が排出事業者から数値をしっかりと吸い上げて、もしくは排出する一般の家庭や事業所から数字を吸い上げて測るようなことをしない限り、正確な排出量というのは算定できない。将来的には正確な数字がないと、我々が今やっている政策の効果が見えにくくなってしまうため、そうならないよう今後も精緻な数値をとれるよう頑張って働きかけていきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>温室効果ガス排出量の総量などに関して、区民の皆さんにお伝えするときは何か一つのものに割り切って、わかりやすく発信していただければと思う。</p>
<p>事務局 (リサイクル清掃課長)</p>	<p>資源回収率が伸び悩んでいるという点ですが、ごみ量も全体的に下がっている中、資源の回収量も下がっているため、区としてはリデュース、発生抑制が進んでいると捉えている。</p>
<p>事務局 (環境部長)</p>	<p>PFAS/PFOSについては、葛飾区は井戸などを中心にきちんと調査をしていて、今のところ検出されていない。しかし今後もいろいろとこの問題は広がっていくため、引き続き調査しながら、適切に広報していきたい。</p> <p>それから会長からお話しいただいた、「省エネを心がけている区民の割合」が減っていることに関しては私も問題意識を持っている。</p> <p>皆さんにお聞きしたいが、省エネで一番心がけていることは何か。</p>
<p>委員</p>	<p>私は電気をこまめに消すなどをして省エネに取り組んでいる。</p>
<p>事務局 (環境部長)</p>	<p>電気代が一番の目安で、電気代が一番影響が出やすいもので区民の皆さんが一番意識しているのはエアコンである。</p> <p>ここ2,3年だが、葛飾区は夏場のエアコンの設定温度についてあまり強くアピールしていない。熱中症の問題が深刻化しているため、逆にエアコンを使ってほしい。特に高齢者の方でエアコンを使うのを我慢する傾向が非常に強いという実情が表れているため、強くアピールしている。</p>

<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>区民の意識についてしっかりと見ていかなければならないが、質問の仕方や内容によって色々と差が出てしまうことについては、我々が研究しながらやっていかなければならない。</p> <p>また車の使用量と CO2 排出量の関係性については、今は中々出すことができない。葛飾区の自動車由来の CO2 排出量というのは、基本的には国内の交通で自動車の走行距離の按分で算出しているため、様々な指標を集めてわかりやすいものを分析している。</p> <p>それから補助金については、区民とコミュニケーションを重ねていながら、どうやれば省エネ・温暖化対策・環境施策が効果的に行くのかということと一緒に考えていきたい。</p> <p>議事(2)「全国みどりと花のフェアかつしか」基本計画について</p> <p>(資料2に基づき、説明した。)</p> <p>(委員等からの主なご意見は以下のとおり)</p>
<p>委員</p>	<p>開催期間が毎年実施している「かつしか環境・緑化フェア」と重なっているが、フェアはどのような位置づけになるのか。また来年にプレイベントも行うということで、「環境・緑化フェア」と連携が可能なのか。</p> <p>もう一点、環境関連の催し物として6月に環境・緑化フェア、11月に清掃工場でごみ減量・清掃フェアがある。先ほど学識経験者の先生方に非常に評価をいただいたが、環境関連のフェアがあるとご案内を差し上げたことはあるのか。実際に見ていただくことでよりの確なコメントがいただけるのではないかと思う。これは主催者側として検討していただきたい。</p> <p>また、環境・緑化フェアは来場者の伸び悩みや企画の形骸化などの部分もある。今回、全国「みどりの愛護」の集いを葛飾に引っ張ってくるということで、これを機に、環境・緑化フェア、ごみ減量・清掃フェアとの新たな連携、区民の皆さんに関心を持っていただくことが達成できると思うため、非常に期待するところが大きい。</p> <p>そして今回のみどりと花のフェアの中核はフラワーメリーゴーランドであることは明らかだと思う。それに使用されている花のポットだが、現在は台湾製の物を輸入しているはずである。それを国内で回収されたりリサイクル材を使うというような努力は必要ではないだろうか。</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>今回の花のフェアは区全体で行うため、環境・緑化フェアに限らず区内で催される様々なイベントと連携しながらやっていく予定である。開催時期やプレイベントが環境・緑化フェアに重なる部分の影響についてはそのとおりである。既に実施しているフェアとも関連させるというのはしっかり対応していきたい。</p>

<p>事務局 (緑と花のまち 推進係長)</p>	<p>それから、学識経験者の皆様には案内を送らせていただきたいと思いますので、お忙しいとは思いますがどうぞよろしく願いいたしたい。</p> <p>フラワーメリーゴーランドのプラスチック製のポットについては、委員のご指摘のとおり、台湾から輸入しているものである。フラワーメリーゴーランドの開発段階において、国内で類似製品があるかどうか調査をしたが、国内製のものではフラワーメリーゴーランドの形態に合うものがなかなか無かったということが一点ある。また製品について、台湾の製品は特許を取っているため特許権を使用するための許諾や、国内生産については改めて金型を作らなければならないなどの課題がある。</p> <p>フラワーメリーゴーランド自体は、全体を既にある太陽光パネルや太陽光のコントローラーなど、今ある製品を組み合わせて作っているものなので、なかなかパーツ一つ一つを製造するというところまではいかないという現状がある。</p>
<p>事務局 (環境部長)</p>	<p>フラワーメリーゴーランドは太陽光と蓄電池を使って自動で給水するという仕組みが、太陽光と蓄電池の両方を使うショーケースモデルとしての役割、加えて最小限の水で植物を育てられるという雨水タンクを活用して作った経緯もある。再エネ利用・雨水活用の意味では環境のモデルではあるが、委員のご指摘のとおりポットのプラスチック製品の問題があるため、可能な限り模索し、プラスチックの部分についてはしっかりリサイクルをしていきたいと思う。</p> <p>また様々なイベントについて、もちろん形骸化させてはいけなし、どこかで定期的に皆さんのご意見を聞くというの也需要かと考えている。まずは2大イベントから今後のやり方や形骸化しないように意見を聞きながらしっかりやっていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>翌年に横浜市が国際園芸博覧会グリーンエキスポを開催するが、そこの連携の状況がどうなっているのか、うまく連携出来たらすごい集客も望めるのではないかと思う。</p> <p>また、緑に特定せずに緑をきっかけにしながらいろんなことを話せるようなことをしてみるのも良いのではないか。</p> <p>あと、毎年実施しているイベントの形骸化についてだが、区主体ではなく緑に関心のある区民参加型にしてみるなど工夫をすると、全国みどりと花のフェアかつしかが区民主体のものになるのではないかと思う。区民だけではなく大学生なども参加しやすい形を検討していただけたらと思う。</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>国際園芸博覧会との連携だが、国交省の担当参事官を通じて相互協力という形で何かできないかと考えているところである。</p> <p>参加型フェアという点については、このフェアを開催するにあたっては区内で既に花壇活動をしている団体・個人の方々と連携協力しながら進めていくことがベースとなっている。加えて東京理科大学も会場としてお借りするため、学生の方にも協力いただきながら一緒に盛り上げていきたいと考えている。</p>

委員	<p>また、市区町村に限らず、企業等と共同開催できるような形も一緒に考えており、今後いろいろとご相談させていただきたい。</p> <p>ここ数十年ほど前から、区と協力して花壇活動を推進する取組を行っていて、その中で花壇コンクールというのを毎年実施している。共創という意味で花壇活動が地域に根付いてきていると感じる。その活動が今回のフェアに活かされればよいのではないかと思う。</p> <p>私自身教育関係者のため、葛飾の子どもたちが大人になった時、一旦区外に転出したが、小さい頃の経験があってまた葛飾に戻ってくるような、つながり作りの一環を花を通じて行うことがすごく魅力的だと思っている。</p>
委員	<p>このイベントをきっかけに区を取組を PR することは非常に重要だと感じている。先ほど他の委員の方からもあったように、もう少し区民にアピールしたほうが良いと私も感じている。SNS や広報誌も一つの手段だが、限界がある。先ほど委員の方からもあったとおり子どもたちへの教育に注力することが良いと思う。企業の SDGs の取組が評価されていないという話もあったが、例えば職業体験の一環で体験させる、ワークショップを親子向けに行うと、SDGs 宣言証を掲げている企業の活動も盛り上がるのではないかと思う。</p> <p>また一点質問だが、フェアの会場に大学を使用する点について施設に影響が出ないか非常に心配である。来年度、薬学部が葛飾キャンパスに移転してくるため、生徒数が 6,000 人規模になる上、教職員や区民も理科大の施設を利用している。現在、学食問題というのがある。区民の方も利用できるオープンな学食であるため、昼になるとすぐに満席になってしまい、オーダーして出来るまで 30 分かかるなど学生の利用が難しい状況となっている。そこにフェアが重なるとパンク状態となってしまうため、対策などの考えがあるのかお聞きしたい。</p>
事務局 (環境課長)	<p>PR や周知の手法としてワークショップは非常に有効だと思うので、考えていければと思う。それから開催期間中の学食についてですが、これは学食に限った話ではないが、開催期間中は 100 万人の来場者を想定している。当然理科大だけではなく区内全域が、特に土日を中心に多くの方が来ると、安全面や区民の方への影響、オーバーツーリズムといった影響が当然あるため、しっかりと対策を考えていかなければならない。具体的には人流をコントロールするための対策をできないかということで、混むところをなるべく分散できるようにしっかりと検討して、交通誘導計画や警備計画を立てていくが、そこに学食も加えて考えていく。</p>
委員	<p>私の大学も観光客含めて人がいっぱい来るので、11 時半から 1 時半までは大学の人間しか使わせないようにしている。そのような制限を大学と連携して考えたほうが良いかもしれない。</p>

<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>理科大ともこの間協議をさせていただいて、色々ご協力いただいているところである。当然のことながらご迷惑をかけないことが大前提になるため、安全面等も含めてしっかりと事前に協議したい。</p>
<p>委員</p>	<p>3点ほどお話しさせていただければと思う。 まず一点、非常に触れられていた「連携」だが、水元公園との連携が出ていない。区の花である花菖蒲のPRにもいいきっかけとなると思うため、ぜひ連携していただきたい。あとは先ほどから出ているように、地域の子どもたちには日ごろの連携をもっと活かしていただくととても良いし、区民の方との共同開催という位置づけにできた方が良いと思う。 二点目としては、リサイクル・リユースも頑張っているが、この基本計画を見るとせっかくの葛飾らしさがでていない。より葛飾らしさを前面に出せばよいと思う。 三点目が、緑と花のまちづくりいっぱいについてはすごくPRできていると思うが、やはり葛飾ならではの花菖蒲と、湿地系、生態系の良さというのがあまりPRできていないところがある。プラスαで葛飾にはこんな素晴らしいところがあるということをPRするところを押せたら良いと思う。</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>まず水元公園との連携だが、この基本計画ができた段階では東京都とも話していたが、策定段階では進展がなかったため掲載していない。ただ、先ほどお話しした皇室行事の「みどりと愛護」の集いは、東京都との共催となる。そのため東京都も水元公園を着目していくというのが今後話し合っていく内容であり、連携が活発になっていくと思う。また「みどりと愛護」の集いの開催場所が、葛飾区の前が松戸市のため、松戸市との連携も出てくる状況にはあると思う。それとやはり大学生を含め地域の子どもたちに協力をしてもらおうかというのは考えており、区全体で盛り上げていくと考えると、区民皆さんに協力していただかなければいけないと考えている。 それから二点目のリサイクル・リユースに関しては、これは環境部が主体となって動いている。環境は環境課だけではなく、清掃、リサイクル部門というのもしっかりこういったところで葛飾の取組を宣伝しつつ、また新たなものに挑戦していくところもあると思うので、計画化していければと思う。 あとは区の花としての花菖蒲、生態系の話だが、区の花としての花菖蒲が有する課題をクリアしながらうまく使えていけたらと思う。そこには東京都や水元公園との連携も入ってくると考えている。 そして湿地、生態系の話についても、ネイチャーポジティブという観点をこのフェアの中でもしっかりと入れていかなければならないと考えている。水元公園の湿地、川の湿地との何らかの連携、アピールといったものや、特定外来生物の危険性等も含めてお知らせできればと思っている。</p>

<p>会長</p>	<p>ゼロカーボン、ゼロウェイストの政策をしっかりと進めながら、私たちの暮らすまち自然環境を豊かにしていく、その流れの中で2027年にきっかけの場を作っていくという素晴らしい流れ作りだと思う。</p> <p>また先ほどからお話にあった2027年の横浜国際園芸博覧会には、横浜国際園芸班という持続可能な運営をするための運営計画作りの有識者委員会というものが、私はそこに関わらせていただいている。そこで今話していることは、園芸博ではあるものの、根本にある自然環境をどう豊かにしていくというネイチャーポジティブの話、情報提供をできるような機会にしていきたい、というものである。その辺りがすごく鍵となっているため、ぜひこちらもうまく連携しながら情報交流等をしていただければと思う。</p> <p>このような大規模イベントを、持続可能性について考えずに実施するというのは社会が許さない時代になっているため、皆でしっかりと考えていかなければならない。</p>
<p>事務局 (リサイクル清掃課長)</p>	<p>議事(3) 葛飾区における3Rの進捗状況について</p> <p>(資料3に基づき、説明した。)</p> <p>(委員等からの主なご意見は以下のとおり)</p>
<p>会長</p>	<p>一言コメントさせていただくと、東京都の粗大ごみで一番課題になっているのが放置自転車と布団である。自転車はいろいろと対策があるが、布団に関しては本当に問題だと言われていた。葛飾区では昨年度から布団のリサイクルができる事業者と連携しながら布団の回収というのをしっかりと入れている。今23区の中でこれを本気でやり始めているのは葛飾区だけではないか。</p>
<p>事務局 (リサイクル清掃課長)</p>	<p>2, 3区は若干の検討を進めているという風に聞いている。</p>
<p>会長</p>	<p>葛飾区がこうやって実績を上げると、他の区もやろうとするところが増えてくるかと思う。うまく実績を上げて先行事例を作っていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>古布の回収は、持ち込みとしているが、粗大ごみとして連絡して取りに来ていただくことは可能なのか。布団だと高齢者はなかなか持ち込みが難しいと思うがなにか良い方法がないのか。</p>
<p>事務局 (リサイクル清掃課長)</p>	<p>古布については、拠点回収というところになるため、持って来ていただく形になる。布団の回収、粗大ごみの回収については、自宅まで回収に何う方法とごみステーションに持ち込む方法がある。基本的に粗大ごみであれば取りに何うこと</p>

	<p>が容易となっている。古布については、拠点を増やし利用しやすい環境を整えていきたいと考えている。</p>
委員	<p>資源ごみの一つとして回収があれば出しやすいのか、というのを考えた。</p>
会長	<p>高齢者が多いということで、どのようにフォローするかは清掃事務所などで検討を進めていると思うが、多種多様なケースを踏まえて検討を進めていただければと思う。</p>
	<p><u>議事（４）建築物再生可能エネルギー利用促進計画の策定について</u></p>
事務局 (建築課長)	<p>(資料４に基づき、説明した)</p> <p>(委員等からの主なご意見は以下のとおり)</p>
会長	<p>再生可能エネルギーの促進区域はどこを指定するか。</p>
事務局 (建築課長)	<p>今のところ葛飾区全域を指定していきたいと考えている。</p>
会長	<p>全域であれば、葛飾区内の再エネの普及がより一層進むのではないかと。また建築士から建築主への説明義務のところまでは書き込めたが、それを実施するところに関してはまだ書き込めないという理解でよいか。</p>
事務局 (建築課長)	<p>義務化ということで条例にこれを定めていく予定である。条例化であるため、ある程度の行政力が出てくると考えている</p>
会長	<p>多くの方が自分たちの建物とか暮らしに再生可能エネルギーを身近に感じられるようになる施策は大変重要なことだと思うため、進めていただければと思う。</p>
委員	<p>建ぺい率とか容積率を超えて許可をするということだが、どこかでしっかりと線引きをしないといけないと思う。</p>
会長	<p>数年前には自然豊かな地域での太陽光パネルが社会問題となり、最近では風力発電に関するアセスメントが非常に多い。社会と共生しながら再エネが広がっていくことが大変重要である。</p>
	<p><u>議事（５）新清掃事務所の開設について</u></p>
事務局	<p>(資料５に基づき、説明した)</p>

<p>(久保清掃事務 所長)</p>	<p>(委員等からの主なご意見は以下のとおり)</p>
<p>会長</p>	<p>資料にあるとおり、地元町会が使えるように会議室を用意したのは非常に素晴らしいと思う。例えば最近アップサイクルやリメイクについて、若い世代で非常に関心がある方が多く、そのようなワークショップに人が集まるという時代である。そのため、より地域の方に使っていただけるような工夫もしていただければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>全体を通して</p> <p>今年の3月に生物多様性協議会の総会において、いくつか話をした。その一つが、協議会の活動に区民の1%を参加させたい、というものである。非常に少ない数字であるが、それを実現するのが大変であるため1%という目標を掲げて、来年3月には実行計画に掲げる。</p> <p>もう一つが、少し話題にも出たが水元の小合溜めにカミツキガメがいることである。外来生物は放っておくと増えるため、我々が駆除しない限りいなくなる。この小合溜めのカミツキガメを絶滅させようという意識を皆さんに持っていただければと思う。</p> <p>もう一つはサイエンスアゴラという科学技術振興機構が毎年行っているイベントである。これに私が関わっている、水元ネイチャープロジェクトというNPOが生き物の展示を行う。ぜひ来ていただければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>区民の方と話していた中でご年配の方が最近天候によって辛い思いをしている。それは最近の異常気象だとか、そういう話だと思う。それに関連して、区の色々な環境についての助成金があると思うが、その利用率というデータも出していただけると参考になると思う。広報で苦労やこういう対応があるなどをPRしていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今日はすごく勉強になった。</p>
<p>委員</p>	<p>全国みどりと花のフェアかつしかについて、いくつか述べさせていただきたい。このような形で自然を大切にするというのはとても良いことだが、少し危惧する点がある。</p> <p>売られているものの中には侵略的外来生物に入っているようなものもあるため、それを注意喚起するパートがあっても良いと思う。その点だけは何か留意するようなものを対策として考えておいてほしい。</p> <p>それから5月～6月に開催するというので、とても気候も良いと思うが、暑さ対策はしっかりした方がよいと思う。また6月は梅雨の時期でもあるため、屋内でも楽しめるような状況というのを考えていただければと思う。</p>

<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>植物の調達に関しては、外来生物のような危惧は当然あるため、しっかりと周知徹底はしていきたい、アフターケアができるよう対応していきたい。</p> <p><u>7 閉会</u></p>
<p>事務局 (環境部長)</p>	<p>今日はありがとうございました。</p> <p>もう少し丁寧にわかりやすく説明することが重要課題だと認識しております。あとは個々の環境行動は、DX も活かしながら環境政策を進めていきたいと考えております。様々なものを使いながら一緒にわかっただくことで、初めて一緒に環境行動をしていただけたらと思っております。理解を得ながらも頑張っていきますので、何卒今後もよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。皆さんからは一生懸命やっているという評価をいただけていると思うので、区の皆さんも一緒に動くという、その場をしっかりと作っていただくというのが大事だと思います。</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>今回、委員の皆様からいただきましたご意見等につきましては、発言者の氏名を伏せた形で議事要旨としてとりまとめ、ホームページに公開させていただきます。</p> <p>次に、次回の葛飾区環境審議会についてご案内させていただきます。次回の開催は令和7年2月を予定しております。詳細な日時・場所が決まりましたら、書面にて通知させていただきます。</p> <p>引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。</p> <p>事務局からの連絡は以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>これもちまして、令和6年度第1回葛飾区環境審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>